

# 県民参加 NPO等協働 通信

県土整備部では、本年3月に「県民参加の推進プログラム」を作成し、県民との協働による県土づくりについて、部を挙げて展開することとしています。

また、社会資本の整備やメンテナンスに当たっては、これまで以上にNPOなどとの協働を積極的に推進していきます。

このコーナーでは、県内の県民参加の活動事例やNPOなどとの協働事例を紹介します。

## その1 地域の景観点検 実施団体 決定！

県民共有の財産であるいわての美しい景観を、守り、より美しい景観をつくっていくためには、県民のみなさん自らが地域の景観の状況を認識し、景観づくりにつなげることが重要です。

「地域の景観点検」は、この素晴らしい財産の状態や、財産を損なっているものを再確認し、より美しい景観をつくっていく基礎資料とするため、地域の皆さんの目で、優れた景観、見苦しい景観を点検するものです。

県としては、「地域の景観点検」をモデル的に実施することで、地域住民のみなさんの取り組みを支援したいと考え、地域に根ざした団体等に点検の実施を委託することとして、企画書を公募しました。

ご応募いただいた9団体の中から、次の5団体に景観点検を委託することとしました。

委託団体名	点検区域
大迫町 田中小空蔵自治公民館	大迫町 田中小空蔵地区
特定非営利活動法人 いわてNPO-NET ㈹	北上市 大通り～本通り地区
特定非営利活動法人 イーティーシー	江刺市岩谷堂、 米里及び藤里地区
特定非営利活動法人 いわてNPOセンター	盛岡市材木町地区
特定非営利活動法人 花巻文化村協議会	花巻市二枚橋地区

委託業務の内容としては、点検区域内の住民等により現地踏査を行い、優れた景観（景観資源）と見苦しい景観（景観阻害要因）を抽出、整理して、地域景観マップ、リスト等を作成し、意見をまとめて発表しあう、ワークショップを開催することが主な活動となります。

後日、景観に関するフォーラムを開催して、各団体の代表者に点検の結果や活動の内容などについて、報告していただくことを考えています。詳しいことが決まり次第、このコーナーでお知らせします。

## その2

## 盛岡西圏域河川整備 計画公聴会の開催

盛岡地方振興局土木部では、盛岡市、雫石町、滝沢村を流れる県管理河川（雫石川の御所ダムより上流、葛根田川、鶯宿川、南川、外柵沢川、矢櫃川、諸葛川、木賊川、菓子川）の今後20～30年の具体的な河川整備の目標や河川整備の内容を示す河川整備計画の策定作業を行なっております。

昨年度は、この中でも特に早急な治水対策を必要とする諸葛川・木賊川流域を対象とした懇談会を開催し、整備に関する意見書が提出されました。

この意見書等を受けまして、盛岡西圏域全体の整備計画原案を策定し、今回、この整備計画原案を御説明し、内容に関して広く住民の皆様から意見をいただくために、公聴会を開催しました。



- 開催日時 7月28日(水)18時30分～20時30分
- 開催場所 岩手県民会館 第2会議室

当日は、盛岡市、雫石町、滝沢村などから約60名の参加者があり、関心の高さを覗かせました。

公聴会では、まず、昨年度までに実施した、アンケート調査や諸葛川・木賊川の懇談会の実施状況について説明を行い、原案の説明をした後、参加者からの意見や質問をいただきました。

主な意見は、以下のとおり

- 木賊川の整備は、早く実施してほしい。
- 山奥だけではなく、人里の自然環境にも配慮してほしい。
- 超過洪水が発生した場合の対応については、どう考えているのか。
- 地域が組織的に活動するための支援をしてほしい。

その他にも、これまでの河川の整備についてや、河川環境に関する意見が出されました。

今後の流れとしては、今回の公聴会での意見を踏まえ、さらに内容の検討を行い、関係市町村への意見紹介や関係機関との協議等を経て、圏域の整備計画を決定してまいります。

